



夏休み……親子で、故郷の偉人を温ねてみませんか

盲目の国学者として知られる郷土の偉人・塙保己一。大きな業績の一つとして広く知られる群書類従が完成して、今年で200年を迎えます。もっと語り継いで欲しい故郷の偉人だから……。塙保己一を温ねてみませんか。

『世のため後のため』塙保己一を知る

塙保己一は、1746年5月5日に現在の児玉町保木野の農家の長男として生まれ、7歳で失明しました。15歳のときに江戸に出て、『世のため後のため』と、群書類従を編さんするなど、国学の発展に大きな業績を残しています。

保己一の生涯が学べる記念館にお出かけください

アスピアこだま内に設置されている塙保己一記念館(月曜日休館)は、失明した保己一が覚えていたという、「すみれの紫、柚の黄色、ほおずきの赤色」をテーマカラーとしてデザインに取り入れています。ホワイエの映像コーナーで、保己一の生涯を紹介する映像資料が視聴できます。

映像資料で学んだ後は、いよいよ展示コーナーへ。順路に従い進んでいくと、保己一が江戸に出るときに大切に持っていた母手縫いの巾着や「お宝箱」と呼ばれる着物などを納めて背負った木製の素麺箱、群書類従や和学講談所の関係資料など、貴重な資料や保己一愛用の品々が展示されています。各コーナーには、解説パネルに加え、音声ガイドもありますので、ゆっくり見学してください。

また、群書類従の目録も備えてあり、どのような文献が収録されているかを調べることができます。ホワイエの書籍コーナーでは、版木で刷りたてた群書類従を手にとることができます。



塙保己一年表

- 一七四六 5月5日、武蔵国児玉郡保木野村(現児玉町保木野)の農家、荻野宇兵衛の長男として生まれる。
- 一七五二 幼名・寅之助。肝の病がもとで失明。辰之助と改める。7歳。
- 一七六〇 江戸に出て、雨富検校の門人となる。15歳。名を千弥と改める。
- 一七六一 雨富検校に学問の道に入ることを許され、国学や和歌を学ぶ。衆分となる。名を保木野一と改める。
- 一七七五 勾当に昇進。雨富検校の本姓である「塙」を称することを許され、「塙保己一」と改める。「群書類従」出版を決意。34歳。
- 一七八三 検校に昇進。「群書類従」出版計画を実行に移す。41歳。
- 一七八六 「群書類従」出版計画を設立。老中松平定信により「温古堂」と命名される。48歳。
- 一七九三 「群書類従」完成。74歳。
- 一八一九 総検校になる。9月12日死去。76歳。

※歳は数え年



記念館で展示の群書類従



塙保己一記念館と座像



旅立ちの朝像



龍清寺三日月不動

▲お宝箱

▲母手縫いの巾着



塙保己一旧宅

保己一ゆかりの地を巡ってみませんか

記念館で学んだあとは、ゆかりの地を巡ってみてはいかがでしょうか。記念館から北西に約2km、児玉町保木野325番地には保己一が生まれた国指定史跡の塙保己一旧宅があります(個人所有の住宅のため内部の見学はできません)。

旧宅の西には、保己一の墓所と没後百年祭記念碑があり、塙保己一公園として整備されています。

公園の北には、保己一の幼少時代の遊びの場、学びの場であった龍清寺があります。同寺には三日月不動があり、母と一緒に毎日のようにお参りしたともいわれています。

また、児玉町児玉にある實相寺は、生家の菩提寺であり、寛政12年(1800)に保己一が両親の戒名を刻んで奉納した燭台(ローソク立て)が残されています。

保己一を顕彰する銅像は、記念館の南に総検校塙保己一座像、JR本庄早稲田駅北口に旅立ちの朝像が設置されています。

時間に余裕がある方は、東京まで足を伸ばしてみませんか

東京都渋谷区にある温故学会は、

埼玉ゆかりの三偉人のつながり

埼玉ゆかりの三偉人といえば、塙保己一、渋沢栄一、荻野吟子です。荻野吟子は日本最初の女医として有名ですが、保己一が復元した『令義解』という古代の律令(法律)の解説書に女性医師の規定が書かれていたことにより、医師開業の道が開かれたのです。

また、近代日本経済の父といわれる渋沢栄一は、保己一の顕彰と版木の保管に大きく貢献しています。栄一は、温故学会設立メンバーの一人であり、没後百年祭記念碑の題額を揮毫しています。

それぞれの偉人の記念館を訪れ、保己一とのつながりを調べるのもいいですね。